

 本セミナーは JIA 環境会議が企画に協力しています。

Japan Home & Building Show 2022 プラチナセミナーの紹介

木造木質建築の未来に向けた
2つの突破口

- 木造高層ビル
- 木造学校建築

日時：2022年10月27日(木)

14:00~14:50

15:10~16:00

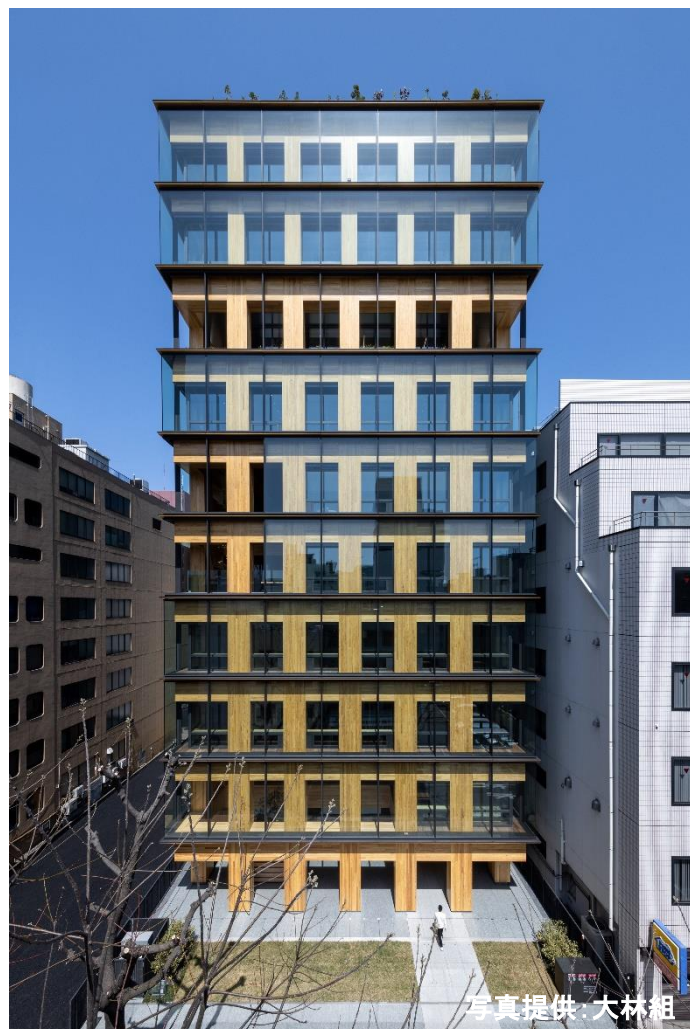
懇親会 19:00~20:00

場所：東京ビッグサイト 東展示棟 A 会場

定員 150名(申し込み先着順)

参加費：無料 ただし事前登録が必要です

主催：一般社団法人日本能率協会



公益社団法人日本建築家協会(JIA)環境会議では、地球環境問題へ建築の分野から取り組む一貫として、木質建築の普及に取り組んできました。近年は木材利用の意義への理解が進み、建築計画に当たって、まず木造や木材利用の可能性を検討するケースも多くなり、いよいよ木造木質建築の時代が到来した感があります。

しかし、実際に都市の骨格を成す中高層建築や大規模建築の木造木質化に取り組もうとすると様々な問題が立塞がり、木造木質建築が都市の主役となるにはまだまだ高いハードルがあることが分かります。このような状況の中で、様々な障害を克服し、新たな突破口を開いたと思わせる2つのプロジェクトが完成しました。

一つは純木造の高層ビルとして完成した「Port Plus」であり、もう一つは大規模な木造建築として完成した「流山市立おおぐろの森中学校」です。今回はこの2つの話題の木造建築の設計者にご登壇いただき、直接お話をうかがいます。

本企画は **Japan Home & Building Show 2022** のセミナー枠をいただいて実現しました。WEB 配信やアーカイブがありませんので、お聞き逃しなきようご参加ください。



講師プロフィール

太田 真理：大林組 設計本部 木造・木質設計推進部

高層・大規模の木造建築の実現には、耐火性能や耐震性能の確保、材料の調達、施工方法の確立といった様々な課題があります。

当社がこれまで培ってきた技術を活かして建設に取り組んだ11階建て高層純木造耐火建築物「Port Plus」をご紹介します。



小泉 治：日本設計 プロジェクト管理部フェロー

2022年4月に開校した耐火木造校舎の流山市立おおぐろの森中学校をご紹介します。昨年開校したおおぐろの森小学校との違いや、構造材を100%国産材とするために行ったサプライチェーン管理、姉妹都市や河川流域による地域産材の調達、中層建物に向けて開発した接合部や高耐力壁についてお話しします。

会場：〒135-0063 東京都江東区有明3丁目1-1 東京ビッグサイト

お申し込み方法

Japan Home & Building Show 2022 のホームページからお申込ください。トップページに「**講演会・セミナー一覧／聴講登録**」というアイコンがあります。「プラチナセミナー」→10/27(木) 14:00-14:50(大田真理氏)、15:10-16:00(小泉治氏)それぞれの申込になります。申込み後は来場者バッジ引換券を印刷してお持ち下さい。

URL: <http://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/index.html>

必ず事前登録の上ご来場ください。会場に入れないか、又は有料になる場合がありますのでご注意ください。会場は展示会場の中にあり、展示物を見ることができます。

当日はマスク着用等、「日本能率協会の展示会の新型コロナウイルス感染防止への対応について」にご留意ください。